



## 「衣類の変色と退色」

まず、どんな衣類であってもずっと色褪せない！という事は不可能です。  
でも、ちょっとした工夫でその程度を抑えることは出来ます。  
色落ちや、色褪せの原因や理由が解れば、その対処方法も見えてきます。



※内側と表側で色の差が出ている。

### I 紫外線と汗

- ・ 紫外線・・・色の分子を分解し構成を破壊します。
- ・ 汗・・・汗に含まれる、アンモニアやカルシウムに色を分解する成分が含まれています

★紫外線と汗という二つの要素が重なると、その影響は加速するので変退色の危険性は更に高くなります

- ・ 紫外線で染料が化学変化を起こし、色褪せとなります
- ・ 窓際や蛍光灯の当たる場所での保管も、変色するので注意が必要です。

- <対処方法>
- 1) 着用後、放置せずになるべく早く洗う
  - 2) インナーを着用し、肌が直接服に触れない様にする
  - 3) 保管はカバーなどで遮光し、風通しの良い場所がお勧めです。



### II 家庭での洗濯

★弱アルカリ性の粉末洗剤の使用

- ・ 「蛍光増白剤」の影響で色褪せしたようにみえてしまいます

※蛍光剤は染料の一種で、紫外線を吸収して青白い光に変え、見た目の白さを増す働きをします

- ・ 洗浄力が高すぎて色落ちを促進させてしまいます。

- <対処方法>
- 1) デリケート衣類用中性洗剤を使う  
※洗剤の洗浄力を表す数値を「中性」にし、  
意図的に洗浄力を抑えた洗剤です
  - 2) 蛍光増白剤、漂白剤が無配合の洗剤を使う
  - 3) 優しく手洗いする
  - 4) 洗濯機を使用する場合は裏返して、洗濯ネットに入れる
  - 5) 直射日光を避けて風通しの良い場所で、陰干し（部屋干し）する
  - 6) 裏返しのまま干すと紫外線に直接当たるのを避けられます。



### まとめ



一年のうちで4月～9月の紫外線が最も強いとされています。

着用しているとさまざまな汚れが付着、蓄積され衣類の日焼け等分かり難いですが、洗濯したりクリーニングする事で、変色や退色が明確になる事があります。

キレイにしたはずが、なんともつらい結果です・・・

色褪せと原因となる「汗」や「紫外線」を多く浴びた時は、出来るだけ早くクリーニングにお出し下さい。  
クリーニングではしっかり汗を取る「汗抜きドライ」がおすすめです。

また保管時は、ビニールは通気性が悪く変色の原因になりますので、不織布タイプのカバーが最適です。